

すぎなみ大人塾 2019 西荻コース

タイトル:ふらっと西荻パート3くらしサイズアップ2019チャレンジ(全6回連続講座)

第1回 学び・遊びの共生「共生社会の創生」

2019年9月21日(土)午後1時30分から4時30分

於 杉並区立高井戸第四小学校

学習支援者:学びの案内人 船尾 本

講師:社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会 地域支援課

地域福祉コーディネーター 中島 篤

講師:すぎなみ大人塾 卒塾 種岡 祐子

学習支援者:学びの案内人 船尾 本

すぎなみ大人塾2019西荻コース・学習支援者の船尾です。昨年の西荻コースでは『プロセスを西荻でデザインする』と題しての暮らしをサイズアップする講座を学びました。今年は『学びと遊びを生かす人』というタイトルでまちの活動をつくる人に挑戦する講座です。

今回の講座の目的は素敵な仲間と出逢い、お互いに刺激を受けて学び合い、試行錯誤して、

その時間を楽しむこととなります。

皆さんの学び等を支える地域サポーターズは、綾部庄一・伊東芳紀・高橋ゆかり・多田邦晃

種岡祐子・三澤和宏・檜枝光太郎の皆さんです。

本日の講座で、皆さんに考えて欲しいことは、クリエイティブにまちをつくるということです。クリエイティブにまちをつくるためには、まちで働く、買い物をする、学校に行く、

スポーツジムに行く、お祭りに参加する等、まちの諸行事、活動等に関わり合いを持つこと。

関わり合いの濃度が濃くなると、自然にまちへの愛着が深くなっていきます。これを私はファンコミュニティ(支持者・愛好者の地域社会)と言っています。是非、この講座を経て西荻を楽しむ活動に参加してほしいと思います。

まず、友だちを見つけることからスタートしてください。友だちとの話し合いを経て、西荻で、あなたが選んだテーマの社会実験活動をします。私たちが活躍する社会をつくるとの意気込みでやってください。そうすると、地域の幅広い分野で地域の課題が見えてきます。

地域の関係者と協働でまちづくりのシーンがあるかもしれません。自分がまちづくりの主人公だと一瞬思うことがあれば人がうらやむ貴重な体験をしたことになります。

つながり方の問題です。例えば、高齢者とつながる場合ですが、高齢者層とのコミュニケーションのよき場ができれば、その延長線上に高齢者が活躍する場をつくれるかもしれません。

若者とつながることができたら、若者つながりで地域活動に関心のある人と友だちとなるかもしれません。

例えば、子どもとつながると活動内容が簡単に理解できることが必要になります。やりたいことがある、もっとつながる。そしてクリエイティブにまちをつくるためにはどうしたらよいのかを考えます。

ファンコミュニティとは、支持者・愛好家の地域社会であり、消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭り……に関わり合いながら、住民相互の交流が地域で行われている状態を言います。

しかしながら昨今、地域活動に参加する仲間が集まらないという声が聞こえてきます。是非皆様には、講座を経て西荻を楽しむ活動に参加してほしいと思います。

まずは、友だちを見つけることからスタートし、学ぶ・遊びの共生について考えます。次に、西荻で社会実験をし、私たちが活動することを通して経験を積み、最後に地域課題に触れながら地域の幅広い分野・関係者と協働でまちづくりに取り組みます。じぶんがまちづくりの主人公になるのです。

共生と持続、このキーワードから皆がつながり持続するモデルが西荻から生まれるかもしれません。西荻で、みんなの生活が豊かになることがゴールとなります。

第5回の講座では、西荻の人々と混じり合うフェスティバルを計画中です。そして、第6回目の成果発表会は、セッション杉並の大ホールで開催するそうです。

ワークショップについて

新しい企画を立ち上げたい人たちでチームをつくるワークショップを実施いたします。チームをつくる理由は、暮らしをサイズアップするためには、チームの共助による解決が個人の解決より効果的であり、じぶんの役割や貢献できるチカラが活かせるからです。

第1部：講話 『地域共生社会』って何ですか？

講師 地域福祉コーディネーター 中島 篤

お世話になります社会福祉協議会・地域支援課の地域福祉コーディネーター中島篤と申します。天沼にある社協事務所4階のボランティアセンターは、皆様はおなじみの処ですが、通称ボラセンの隣の課が地域福祉推進係です。

私の肩書は地域福祉コーディネーターとなっています。

まず、杉並区社会福祉協議会と地域福祉コーディネーターとの関係説明を致しますと、杉並区社会福祉協議会は、「杉並区地域支え合いの仕組みづくり事業」として、地域の様々な使命、課題等を解決するように杉並区から委託事業を受託しています。

委託事業の目的は、区民が地域の生活課題を自主的に把握して、解決を図る試みができるように、住民主体の支え合いの仕組みを推進していくこと。そして、支え合いの仕組みを推進していくために地域福祉コーディネーターを配置しているわけです。

杉並区西荻南にある『まちナカ・コミュニティー西荻みなみ』拠点で、協働して事業を行っていきます。そのお仕事は、

#### 1) 個別支援

皆様の活動拠点に出向き、区民への聞き取りや相談に乗ることや行政、地域関係団体へのつなぎなど

#### 2) 地域支援

地域で活動している方々の活動支援や地域生活課題の収集など

このようなことをコーディネーターとして活動しています。

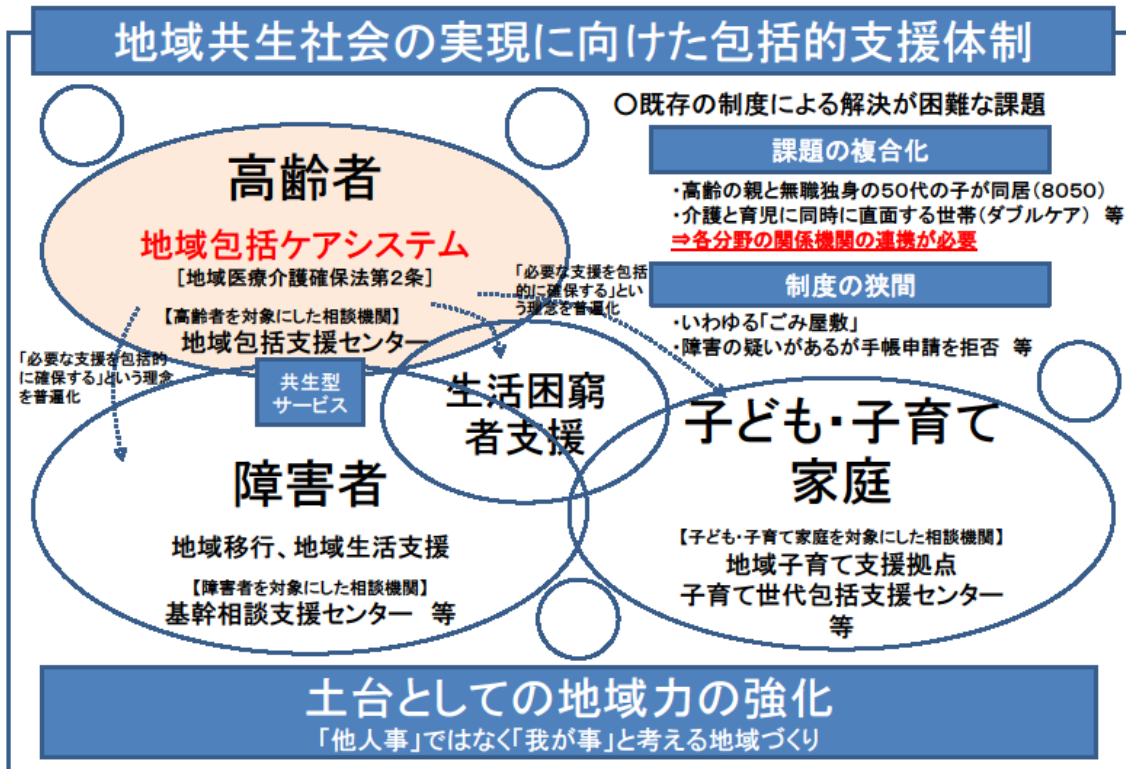
本日の講演テーマですが、『地域共生社会』という言葉が出てきます。

地域共生社会とは、すべての人々が地域、日々の暮らしや生きがいを自分のこととして活動する社会で、実現するためには、支え手と受け手が一体となること（分かれてはいけない）、そのために支え手と受け手の双方向の関係性をつくることだと考えています。

地域支え合いの仕組みづくりを達成するためには、福祉の仕組みはフラットにする、人々の日常生活を支え補う人たちの確保、育成等が必要であると考えています。

以上、共生社会について、おしゃべりしました内容を1枚にまとめた資料をご披露いたしますと、厚労省「我が事」地域共生社会実現本部、「地域共生社会」の実現に向けて(当面の改革工程)概要になります。この報告書は9ページに亘るものですが、1ページにまとめたものが下の図となります。





この資料を見て、思うことは、

高齢者、障がい者、子ども（子育て家庭）の分野の中に、またがる生活困窮者支援の課題があります。また、各分野の中にも、それぞれ課題がありますが各分野の狭間にも課題が潜んでいます。狭間にある課題を発見して解決方法を見出すことは、大変難しく感じます。狭間にある課題は複合化しているために従来型の高齢者施策である行政の高齢者分野の部・課の対応で済ませるということでは、解決は当面無理かと考えます。そこで、どうしても地域の土台を強化する方策に行きつくことになります。

地域の土台である社協、地域人材、NPO、ボランティア等の様々な分野の協力が必要になるかと思えます。地域の人達がいずれは自分の課題となるなら自主・自立の精神で、「このようであってはならない」という理念を実践に移す。このような人たちが生まれるような地域づくりが必要と考えます。精神的な自立、文化的な自立を住民が、共につくるということです。

地域力強化のために、地域福祉コーディネーターのこだわりを持ちたいと考えています。

こだわり①

地域における社会生活にこだわる

住民（生活者）主体にこだわる  
方法にこだわる（自立支援、参画と協働）  
地域にある資源（ひと・もの・かね・とき・しらせ…）の最大活用にこだわる  
地域経営（目標、方法、プロセス、結果、効果の説明責任と共有、蓄積、循環）にこだわる  
持続可能な地域社会づくりにこだわる  
そのためには「自立」精神が必要となるので

#### こだわり②

相談者への徹底した本人尊重  
SOS を言える、気づける地域づくり  
ないものはつくる（開発力）  
本人の生活から組み立てていく  
支援者されている人（マイナス）を  
地域における宝（プラス）へ変えていく

一挙に、地域の土台作りは出来上がりませんが、私は、こだわり①②を踏まえて、地域づくりの一助になれるように努力をしていきたいと考えています。

## 第2部 事例紹介 人生100年時代の学びあい、遊びあい はじめました！

すぎなみ大人塾卒塾生

種岡 祐子

社協の中島さんが、「地域共生社会」の説明をしてくださいましたが、その考え方をもとに、私たちは多世代で支えあい、学びあい、遊びあいで地域環境を整えていくことを目指しています。

本日は、西荻南のまちナカ・コミュニティ西荻みなみで行われている取り組みの一端をご紹介します。

### 1) ときめきサロン

高齢者が暮らしに「美容」という要素を取り入れたら、お出かけ上手、繋がり上手になるのではないかと考えた活動です。

高齢者のみなさんは、外に出るのが面倒くさいということで、引きこもり状態が続く例が多々あると聞き及びましたので、このときめきサロン講座を作りました。

全5回、山野美容芸術短大の教授の協力を仰ぎ、毎回20名、主に70～80代の方が参加して下さっています。

この講座に「共生」の考え方を取り込んだ活動を考えています。

### ① 地域の理美容室を巻き込む作戦

山野美容芸術短大の「美齢学」(セルフ美容プログラム)という考え方をベースに、高齢の方々が地域で開業している理美容室に通い、スタッフさん、お客さまと仲良くなって日常的なサロンとする。地域全体で高齢者を見守るという環境つくり、つなげたいと思っています。

2019年5月から2020年1月まで、全5回開催!

## すこやか×おしゃれ体験

暮らしに「美容」をとり入れて おでかけ上手、つながり上手  
西荻みなみ  
ときめきサロン



水曜日10時30分～12時

### 第2回 夏肌メイクで爽やかな笑顔

持ち物：フェイスタオル2本程度、ご自分の肌に合う基礎化粧品とファンデーション  
※こちらでも基礎化粧品をご用意いたしますが、特に敏感肌の方はご用意ください。  
メイクを落とします。出来れば素颜でお越しください。

指導：山野美容芸術短期大学 冨田知子教授  
日時：7月24日(水)10時30分～12時  
会場：西荻みなみ(西荻南2-28-14)  
参加費：500円  
定員：先着30名  
お問合せ・お申し込み先：西荻みなみスタッフ、  
または望月 TEL：090-6956-8596 Email：mochi-michiko888@docomo.ne.jp  
種岡 FAX：5936-1706 Email：taneokay@gmail.com

主催：西荻みなみ ときめきサロン  
協力：山野美容芸術短期大学、杉並区社会福祉協議会、ケア24西荻

※講座終了後、アンケートをお願いすることがあります。ご記入に10分程度かかりますが、ご協力をお願いします。ご記入頂いた方には、ミニ化粧品を差し上げます。  
【日程・内容】全5回参加、ご都合に合わせての参加、いずれも歓迎です。

2019年 ①5月22日(水) 春カラー、フェイシャル&ヘッドマッサージ(終了)  
②7月24日(水) 日焼け予防、夏の化粧  
③9月9日(月) 夏後のスキンケア 秋冬色のお化粧 唇の形を見直そう  
④11月11日(月) 冬のスキンケア、ヘアスタイリングのこつ(ウィッグの活用)

2020年 ⑤1月20日(月) ハンドマッサージ  
いずれも10時30分～12時

お友達を誘って、  
みんなおしゃれ仲間

西荻の10年未来をつくらう



まちなか・コミュニティ  
西荻みなみ  
杉並区西荻南2-28-14

西荻みなみの活動は、ケア24西荻/西荻東地区会/西荻南2丁目サロン/西荻南2丁目会、西荻南一丁目自治会、西荻南中央会、西荻南二丁目大町通り町会、宮前地区・保深地区民生委員と地域有志、西荻第一他、多くのみなさんの協力をいただいています。2019.4.1  
ケア24西荻は、見守り・ささえあいの地域づくり、地域包括ケアの推進、地域共生社会の実現に向けて、保健福祉、介護予防、生活支援に関する情報提供、講座・懇話会の企画・実施協力、まなまサロンの運営協力などを通して、まちなか・コミュニティ/西荻みなみの活動に協力しています。2019.4.1

### ② 地域のハンドマッサージサポーターの育成へ

地域では、高齢者は支えられるだけでなく、支える側としての活躍の場があると考えます。その一つとして、ハンドマッサージサポーターを育成するプログラムがあります。

元気な高齢世代がハンドマッサージを活用して、独居高齢者や被災者等の方々を支援  
きると考えています。今後は社協事業となりますが、そのきっかけになったと思います。

## 2) ワイワイがやがや会議～地域のことを子どもと一緒に考える会議

地域のこと、一緒に考える会議を月に1回行っています。

地域の課題や企画を持ち込み、皆で話し合います。ときめきサロンはその一つです。将来的には、地域のことを未来のオトナ=子どもと一緒に考える会議にしていきたいと思います。

まず、子どもが主体的に企画するイベントをやりたいと考えていますので、目下企画を募集中です。

子どもと大人が一緒になって安心して暮らすために、地域で支えあい学びあい遊びあう未来につながる活動を、これからも皆で育てていきたいです。